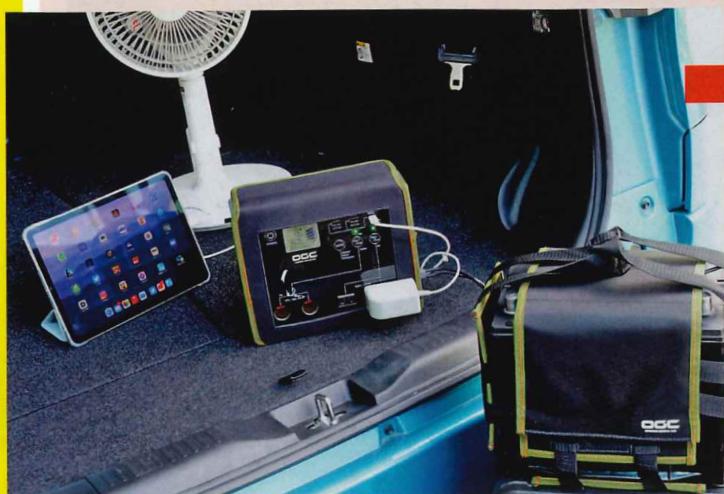


自由自在!

# ディープサイクルバッテリー 活用術



※価格はすべてオープン <https://www.amon.jp>



↑コンセントとつなげて、スイッチを押すだけで簡単に充電できる「バッテリーチャージャー」も用意しておきたい。コンパクトなので場所は取らないのもありがたい



↓バッテリーはかなり重たいし、落とすと破損し、危険なことも。サイズが違っても対応できる「バッテリーバッグ」があると楽に持ち運べるので、とても便利だ



つなぐ

→自動車用のような端子以外に、小さなネジ式の端子も付いていて、脱着は簡単にできる。使用時にはバッテリーからガスが出るので、車内に置くのは厳禁だ

**バッテリーを電源にすると  
機動力が大きくアップ!**

ここではクルマでも使える電源について紹介しよう。最近ブームのキャンプやアウトドアで使われるが、ディープサイクルバッテリーというものの、自動車用に似て、繰り返しの放充電に強く、完全放電も想定して作られているのが特徴で、リチウムイオンと違って普段の持ち運びも安全にできるので、レジャーだけでなく、災害時にも活用できる。

ただ、そのままで

は素人には非常に使いにくい。そこでコ

電気を使う



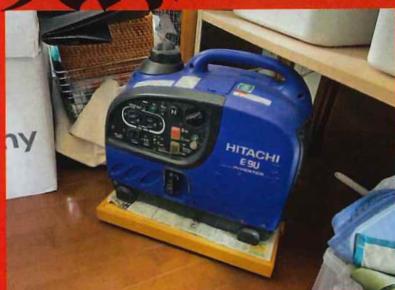
↑操作の中心は「コントロールボックス」(右)で、対応電源形式は豊富。車載のバッテリーでも使用はできるのは災害時がありたい。6台までつなげられる「USBチャージャー」(左)も便利



電気があれば  
まずは明るい!

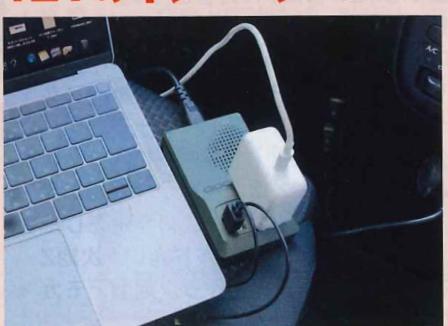
→災害時には切実な問題になるのがライト。「ハンディライト」(右)や、モバイルバッテリーにもなる「スクエアライト」(左)も用意されている

## 実録 発電機が究極!?



究極は自家発電だろう。地震の教訓で、我が家では発電機を常備している。試しに何度か使っていて、ガソリンはバイクから抜くので問題なし。出力も大きくていろいろな家電が使える。ただ、オイル交換などのメンテが必要で、家庭用としてはかなり手間がかかるのは事実。それに臭いし……。

## 12Vのインバーターも使ってみました



→「コンバクトインバーター」も出ているので、「こちらも試してみた。12Vながら、昇圧することで100Vが取り出せて、定格で20Wなので、車内での作業用としてかなり頼らしい